

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目 標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 | ・コロナ禍で直接ご家族と話しをする機会が少なくなっている。 ・利用者様とご家族を結びつける手段として、電話やLINEの活用を始めたところである。 | ・ご家族が安心でき、利用者様の日中活動の様子がご家族に伝わるよう、定期的に情報を発信していく。 | ・利用者様の日中活動の様子をお知らせする。 ・利用者様やご家族が、お互いの顔を見て安心できるように、事務便(郵送)やLINEを活用する。 | 12カ月 |
| 2 | 10 | 同上 | ・ご家族との信頼関係を深めるとともに、利用者様やご家族が意見を言いやすいような、取り組みや環境作りを行う。 | ・利用者様とご家族とのつながりが保てられるように、電話や手紙などを通じて、利用者様の普段の日常の様子や近況をご家族にお知らせする。 ・ご家族との関係を深め、ご家族からの意見を伺う。 | 12カ月 |
| 3 | 35 | ・年に2回防災訓練を実施している。地域住民との地域防災訓練に参加できていたが、コロナ禍で関係性が薄くなるのが課題となっている。また、利用者の状態の変化に伴い、避難誘導の仕方について再検討し、周知伝達する必要がある。 | ・安全に避難誘導できるように、レート確認や利用者様の避難時対応の仕方を、各職員で確認し合あう。 ・新しい職員にもその都度個別に学習する機会を持つ。 | ・法人内の連絡連携等を再確認する。 ・各利用者様の状態に応じて避難できるように確認しておく。地域のハザードマップなど最新の情報を得る。 ・施設内防災訓練の様子を自治会の回覧板などで報告し、関係性を深めておく。 | 12カ月 |
| 4 | 36 | ・高齢に伴い、聴力や視力低下のある利用者様が 多く、自分の意思や意見を言いやすい環境作りが 必要となっている。 | ・高齢に伴う視覚・視力低下などにおけるコミュニケーションの仕方、利用者様の尊厳とプライバシーについて学び話し合い、理解を深める。 | ・利用者様の状態や状況に応じて、コミュニケーションのとり方を学習し、新しい職員へも情報共有しておく。 ・ゆったりとした雰囲気です話しやすいよう、おやつ時間や食事前を利用して意見を伺う。 | 3カ月 |
| 5 | | | | | カ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)